

# 読売新聞

【2011年6月3日付】

2011年(平成23年)6月3日(金曜日) 第1頁

（第3種郵便物認可）



新聞とテレビの広告を比べてみた池田教諭と5年1組の児童たち（横浜市神奈川区の市立白幡小で）

横浜市立白幡小（神奈川区）の5年1組で5月13日、

**NIE** 教育に新聞を

## 比べて磨く読解力

### 新聞広告とCM伝え方学ぶ

「新聞広告とテレビCMをくらべ、伝え方の違いを考えよう」という授業が行われた。

はじめに教室の大型テレビで、東日本大震災で運休していた東北新幹線の全線再開を伝える約30秒のテレビCMが流された。担任の池田尚子教諭がテレビCMの特徴を尋ねると、児童からは、「BGMがあつて、感情が伝わりやすい」「動きやナレーションがあるの」で内容がわかりやすいなどの発言があった。

続いて、池田教諭はプリントを配り、新聞広告の特徴を記すよう指示。クラスでは同月9、12日に、このテレビCMと同じ内容を伝える新聞広告や、新聞の折り込み広告について話し合い、グループごとに特徴を模造紙にまとめて教室や廊下に貼り出していた。池田教諭が「この前まとめたものを見にいてもいいよ」と促すと、児童は模造紙を見直して、うなずいたり腕を組んで考え込んだり。席に戻って考えをまとめた後、3、4人のグループ8班に分かれて話し合った。

あるグループでは、「テレビと違って自分のペースでゆっくりと何度も読める」「大切なところが大きい文字で書かれ、伝えたいことが一目でわかる」などの意見が出た。

本校は昨年度より、NIE（Newspaper in Education）の指定を受け、新聞を活用した様々な授業を展開しています。今回は5年生の国語の一環として授業で新聞を活用し、情報を集めました。実生活につながる豊かな学びの一つです。

授業の最後に中川怜香さん(10)は「これからも色々なものの良さを比べて考えたい」と発言。授業「将来的には、媒体による伝え方の違いを学ぶことで、表現力を磨ききつかけになれば」と考えているという。同校は今年、2年連続でNIE実践指定校に指定された。昨年は水泳の北島康介選手のレースについての記事で、複数の新聞で読み比べ、同じ事実でも伝え方が異なるということを学んだ。同校の水池啓子校長は「情報を発信する側の意図を読み解く能力を育成し、子供たちの思考力を伸ばしていきたい」と話していた。（阿部真司）